

オーバーツーリズム対策, 観光財源, 自然風景・資源, 環境・防災教育

研究の概要

主に国立公園のような自然風景地・自然観光資源を対象として、観光利用と環境保全の両立に向けた実証的・計画論的研究を実施しています。研究のキーワードとしては、観光施設（ビジターセンター等）、エコツーリズムとしての環境教育や防災教育、旅行者意識、オーバーツーリズム、観光財源（入山料・入域料等）などになります。研究を実施するにあたっては、「研究の最終的な目的は研究成果の社会実装、そして社会貢献である」との理念から、研究結果をもとに観光振興、滞在型観光、地域課題の解決に向けた政策、施策について考察、提言を行っています。

その他、自然風景地・資源以外では、都市公園や温泉地、災害被災地、道の駅等をフィールドとしてきました。



多様な自然景観と温泉等の人文景観で知られる八幡平

研究の特徴

例えば以下のような、行政や企業の方が抱えていらっしゃる課題解決に貢献できます。

- ◆ オーバーツーリズムに対してどのような対策を取ればいいのか知りたい。
- ◆ 観光振興や観光地の管理等に必要な財源をどのように確保したらよいか知りたい。
- ◆ 地域にある自然資源・地域資源をどのように生かしたら観光振興ができるのか知りたい。
- ◆ 観光施設を新設/再整備するにあたって助言がほしい。

※これまでの私の研究活動・研究成果等については、右下にあります QR コードのリンクからご確認ください。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ◆ 岩手県八幡平市 八幡平温泉郷来訪者の現状分析と今後の観光振興策の提案

若手研究者であることもあり、受託研究・共同研究・学術指導等の実績は必ずしも多くありませんが、観光客・観光地・観光施設・観光資源を対象とした研究を近年も活動的に実施しています。

研究者からのメッセージ

受託研究・共同研究・学術指導・助言・講演等のお申し込みを歓迎いたします。

研究者情報サイト
researchmap



研究分野 : 観光学, 環境学, 社会・統計調査

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 観光学科・講師・佐々木啓

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp